平成30年度（事務事業評価表（平成29年度振り返り））

事務事業名	140201　緑地保全地域植生管理事業	新規/継続	継続
政　策　名	06　地球環境にやさしいまち		
施　策　名	14　水と緑にふれあうまちづくり		
基本事業名	02　緑の保全と活用		
所管課係名	環境政策課　緑と公園係	所管課長名	岩澤　純二

事業の概要

根拠法令等	□ 自主的（条例・規則等）　■ 義務的（法律・政令等）　□ 努力義務的（法律・政令等）			終期	
	（国）都市緑地法　（国）環境基本法　（都）東京における自然の保護と回復に関する条例　（市）環境基本条例　（市）環境基本計画　（市）緑の基本計画				
補助事業	□ 該当	□ 行政補完的	□ 政策的	給付事業	□ 該当
市独自上乗せ	□ 該当	□ 上乗せ	□ 横出し		
特定財源	□ 該当	廃止予定の有無	□ 該当		
事業形態	□ 直営（委託無）　□ 全部委託　■ 一部委託　□ 指定管理　□ 補助金 □ その他（　）				
近隣市状況	■ 小平市　■ 東村山市　■ 清瀬市　■ 西東京市 ■ その他（（都）緑地保全地域所管自治体）				
その他	実行プラン	□ 対象	外部評価	□ 対象	内部管理事業等　□ 該当

事務事業の目的（事務事業の対象、手段、意図）

対象	市民、東京都
事業内容・活動手段	市内緑地保全地域の樹林地管理、歴史環境保全地域（野火止用水）沈砂池管理等
目的・意図	市民の生活環境の中にある水と緑を増やし減らさないようにする。東京都が所有する緑地保全地域の植生管理委託。

活動指標（手段の数値指標化）

指標名	整備箇所		単位	箇所
実績値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	8	8	8	

成果指標（意図したことの結果の数値指標化）

指標名	保全されている面積		単位	㎡
指標の種類	増加を目指す指標	現年度目標値	132,626	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
目標値	－	132,626	132,626	
実績値	132,626	132,626	132,626	

事業費・人件費等

			平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費（実績額）①　（千円）			11,717	12,043	12,019
上記「事業費（実績額）」に係る財源	特定財源	国	0	0	0
		都	11,781	12,042	12,018
		その他	0	0	0
	一般財源	特定財源に伴う一般財源	0	0	0
		一般財源	△64	1	1
人件費（理論値）②　（千円）			2,832	3,118	3,576
トータルコスト①＋②　（千円）			14,549	15,161	15,595
単位当たりコスト　（円）			1,818,625	1,895,125	1,949,375
目標達成率　（%）			―	100	100

評価

業務フローに改善の余地がある	□	制度改正の余地がある	□	平成31年度の方向性	現状維持
説明				総合評価（課題・方向性）	
東京都との協定により行っている事業となるため、フローの改善及び制度改正の余地はない。				現状の外部委託等に加え、ふれあいボランティア等との連携を強化していく。	
効率性	3	達成度	3		
説明					
東京都の委託金によって行っている事業であり、例年同等の効率性となる見通しである。					

平成30年度（事務事業評価表（平成29年度振り返り））

事務事業名	140202　保存樹木等保護支援事業	新規/継続	継続
政　策　名	06　地球環境にやさしいまち		
施　策　名	14　水と緑にふれあうまちづくり		
基本事業名	02　緑の保全と活用		
所管課係名	環境政策課　緑と公園係	所管課長名	岩澤　純二

事業の概要

根拠法令等	□ 自主的（条例・規則等）　□ 義務的（法律・政令等）　■ 努力義務的（法律・政令等） （国）環境基本法　（市）環境基本条例　（市）みどりに関する条例　（市）緑の基本計画				終期	
補助事業	■ 該当	□ 行政補完的	■ 政策的（改正実施年度 平成27年度）		給付事業	■ 該当
市独自上乗せ	□ 該当	□ 上乗せ	□ 横出し			
特定財源	□ 該当	廃止予定の有無	□ 該当			
事業形態	□ 直営（委託無）　□ 全部委託　□ 一部委託　□ 指定管理　■ 補助金 □ その他（　　）					
近隣市状況	■ 小平市　■ 東村山市　■ 清瀬市　■ 西東京市 □ その他（　　）					
その他	実行プラン	□ 対象	外部評価	□ 対象	内部管理事業等	□ 該当

事務事業の目的（事務事業の対象、手段、意図）

対象	高さ10m以上、幹回り157cm以上の樹木
事業内容・活動手段	当該年度適正に管理されている保存樹木等の補助金交付、樹木プレートの設置等
目的・意図	所有者が適切に管理するための費用を一部補助し、市の貴重な緑を保全する。

活動指標（手段の数値指標化）

指標名	補助金を交付した保存樹木の本数		単位	本
実績値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	627	656	646	

成果指標（意図したことの結果の数値指標化）

指標名	増えた保存樹木の本数		単位	本
指標の種類	増加を目指す指標	現年度目標値	50	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
目標値	－	50	50	
実績値	35	29	△10	

事業費・人件費等

			平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費（実績額）①　（千円）			3,277	3,254	3,278
上記「事業費（実績額）」に係る財源	特定財源	国	0	0	0
		都	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	特定財源に伴う一般財源	0	0	0
		一般財源	3,277	3,254	3,278
人件費（理論値）②　（千円）			1,888	2,079	2,384
トータルコスト①＋②　（千円）			5,165	5,333	5,662
単位当たりコスト　（円）			8,238	8,130	8,765
目標達成率　（%）			―	58	△20

評価

業務フローに改善の余地がある	□	制度改正の余地がある	□	平成31年度の方向性	現状維持
説明				総合評価（課題・方向性）	
樹木の巨木化に伴い剪定や落ち葉の処理等、樹木所有者の負担が増加する一方で、平成27年度から一株あたりの保存樹木補助金額を3,100円に引き下げた。指定保存樹木の増加や所有者負担を勘案すると、これ以上の削減は困難である。				指定保存樹木を増やすため、保存樹木の貴重さのＰＲを行い、指定を促進していく。	
効率性	3	達成度	1		
説明					
保存樹木等所有者の解除申出に伴い保存樹木数は減少したが、需用費等の事務費が微増した。					

平成30年度（事務事業評価表（平成29年度振り返り））

事務事業名	140203　樹林地等管理事業	新規/継続	継続
政　策　名	06　地球環境にやさしいまち		
施　策　名	14　水と緑にふれあうまちづくり		
基本事業名	02　緑の保全と活用		
所管課係名	環境政策課　緑と公園係	所管課長名	岩澤　純二

事業の概要

根拠法令等	□ 自主的（条例・規則等）　□ 義務的（法律・政令等）　■ 努力義務的（法律・政令等）			終期	
	（国）都市緑地法　（国）環境基本法　（市）環境基本条例　（都）東京における自然の保護と回復に関する条例　（市）環境基本計画　（市）緑の基本計画				
補助事業	□ 該当	□ 行政補完的	□ 政策的	給付事業	□ 該当
市独自上乗せ	□ 該当	□ 上乗せ	□ 横出し		
特定財源	□ 該当	廃止予定の有無	□ 該当		
事業形態	□ 直営（委託無）　□ 全部委託　■ 一部委託　□ 指定管理　□ 補助金 □ その他（　　）				
近隣市状況	■ 小平市　■ 東村山市　■ 清瀬市　■ 西東京市 □ その他（　　）				
その他	実行プラン	□ 対象	外部評価	□ 対象	内部管理事業等　□ 該当

事務事業の目的（事務事業の対象、手段、意図）

対象	市が管理する樹林地・森の広場・市民緑地と利用する市民
事業内容・活動手段	樹林地等の維持管理
目的・意図	市民の生活環境の中にある水と緑を保全する。

活動指標（手段の数値指標化）

指標名	保全箇所		単位	箇所
実績値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	14	14	14	

成果指標（意図したことの結果の数値指標化）

指標名	保全されている樹林地等面積		単位	㎡
指標の種類	増加を目指す指標	現年度目標値	32,295	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
目標値	－	32,295	32,295	
実績値	32,295	32,295	32,295	

事業費・人件費等

			平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費（実績額）①　（千円）			23,863	23,521	21,952
上記「事業費（実績額）」に係る財源	特定財源	国	0	0	0
		都	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	特定財源に伴う一般財源	0	0	0
		一般財源	23,863	23,521	21,952
人件費（理論値）②　（千円）			3,965	4,365	3,814
トータルコスト①＋②　（千円）			27,828	27,886	25,766
単位当たりコスト　（円）			1,987,714	1,991,857	1,840,429
目標達成率　（%）			―	100	100

評価

業務フローに改善の余地がある	□	制度改正の余地がある	□	平成31年度の方向性	現状維持
説明				総合評価（課題・方向性）	
高木・老木化に伴う剪定又は伐採をボランティアで行うことが不可能であるうえ、苦情等に伴う剪定は、原則として強剪定としているため、業務フローの改善及び制度改正の余地はない。				平成26年度から3年間の若返り促進事業として樹木の剪定を行ったが、野火止用水沿いの樹木の高木・老木化全てに対応できたわけではない。今後は、倒木等による事故を未然に防止するための維持・管理方法を検討していく。	
効率性	3	達成度	3		
説明					
平成29年度は、平成26年度から3年間の若返り促進事業が終了したため事業費が減少した。					

平成30年度（事務事業評価表（平成29年度振り返り））

事務事業名	140204　緑地保全計画推進事業	新規/継続	新規
政　策　名	06　地球環境にやさしいまち		
施　策　名	14　水と緑にふれあうまちづくり		
基本事業名	02　緑の保全と活用		
所管課係名	環境政策課　緑と公園係	所管課長名	岩澤　純二

事業の概要

根拠法令等	■ 自主的（条例・規則等）　□ 義務的（法律・政令等）　□ 努力義務的（法律・政令等）				終期	
	（国）都市緑地法　（国）環境基本法　（市）環境基本条例　（市）環境基本計画　（市）緑の基本計画　（市）緑地保全計画					
補助事業	□ 該当	□ 行政補完的	□ 政策的		給付事業	□ 該当
市独自上乗せ	□ 該当	□ 上乗せ	□ 横出し			
特定財源	□ 該当	廃止予定の有無	□ 該当			
事業形態	□ 直営（委託無）　□ 全部委託　■ 一部委託　□ 指定管理　□ 補助金 □ その他（　　）					
近隣市状況	□ 小平市　□ 東村山市　□ 清瀬市　□ 西東京市 □ その他（　　）					
その他	実行プラン	□ 対象	外部評価	□ 対象	内部管理事業等	□ 該当

事務事業の目的（事務事業の対象、手段、意図）

対象	第二次緑の基本計画において「将来にわたり保全・回復していく」と設定した「水と緑の拠点」内の緑地等
事業内容・活動手段	保全優先度等を勘案しながら、緑地を保全する。
目的・意図	相続等による、民有緑地の継続的な減少に対し、公有地化や特別緑地保全地区指定等により、雑木林等の保全を図る。

活動指標（手段の数値指標化）

指標名	保全対象地区		単位	箇所
実績値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	－	10	10	

成果指標（意図したことの結果の数値指標化）

指標名	保全を推進した地区		単位	箇所
指標の種類	増加を目指す指標	現年度目標値	1	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
目標値	－	－	1	
実績値	－	0	0	

事業費・人件費等

			平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費（実績額）①　（千円）			3,824	0	0
上記「事業費（実績額）」に係る財源	特定財源	国	0	0	0
		都	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	特定財源に伴う一般財源	0	0	0
		一般財源	3,824	0	0
人件費（理論値）②　（千円）			3,776	1,888	238
トータルコスト①＋②　（千円）			7,600	1,888	238
単位当たりコスト　（円）			―	188,800	23,800
目標達成率　（%）			―	―	0

評価

業務フローに改善の余地がある	□	制度改正の余地がある	□	平成31年度の方向性	拡大
説明				総合評価（課題・方向性）	
本計画は、みどりの基金、都市計画税等を活用しながら、特別緑地保全地区指定や都市計画緑地として整備し、民有緑地を保全することを目的としているため、フロー改善・制度改正の余地はない。				平成27年度に策定した緑地保全計画に基づき、保全優先度や、相続による緊急度合を勘案しながら、緑地の公有地化及び特別緑地保全地区指定等に着手する。 今後は、「緑確保に関する総合的な方針」の中間見直しに向けて地権者との協議等を進めていく。	
効率性	5	達成度	1		
説明					
地権者との合意形成が図れず緑地の保全を推進するに至らなかったことにあわせ、関係部署との調整回数が減ったことによる人件費の減が生じた。					